

十日町市
Tokamachi
ぎ"かい
だより

No. 50

平成29年1月25日発行

写真タイトル 陽 春 (松代高校写真部)

一般会計補正予算

12月定例会において国の2次補正に伴う経済対策事業や市道除排雪経費などの補正を行いました。

12月定例会【補正予算(第6号)】

〈主な事業〉

【通常の補正分】

◆管理収納経費（税務課）

- ・中里地域の固定資産税課税誤りによる還付金及び還付加算金の追加 【1,649万円】

◆認定こども園※運営事業（子育て支援課）

- ・制度改正に伴い入園児が増加したこと等による給付金の追加 【6,500万円】

※認定こども園：家庭に保育できる人がいても預けられる幼稚園と保育園が一体となった施設

◆市道除排雪経費（建設課ほか）

- ・市道除排雪委託料等の追加 【5億7,705万円】

【国の2次補正分（経済対策）】

◆臨時福祉給付金事業（福祉課）

- ・消費税増税延期に伴う低所得者向け給付金の補正 【1億9,150万円】

◆県営広域営農団地農道整備事業ほか（農林課）

- ・田麦地内農道整備負担金ほか4つの県営事業負担金の補正 【1億754万円】

◆地方創生拠点整備交付金活用事業（観光交流課ほか）

- ・キャンパス白倉や大蔵寺高原キャンプ場、東川美術館の施設改修工事等の補正
..... 【1億2,000万円】

◆社会資本メンテナンス事業（建設課）

- ・市道の舗装修繕工事等の補正 【5,200万円】

◆十日町・川西・中里地域道路整備事業（建設課）

- ・上川町本通り線ほか2路線の改良工事等の補正 【1億6,590万円】

◆十日町地域消雪パイプ整備事業（建設課）

- ・消雪パイプの整備や井戸の新設に伴う改良工事等の補正 【1億1,800万円】

◆小学校施設整備事業（教育総務課）

- ・田沢小学校校舎や体育館のトイレの洋式化に伴う整備工事等の補正 【4,980万円】

◆中学校施設整備事業（教育総務課）

- ・松之山中学校の3期工事や、吉田中学校校舎、体育館のトイレの洋式化等に伴う
整備工事の補正 【1億8,950万円】

関口市政二期目の総括と 今後の市政運営について

飯塚 茂夫 議員

質問 二期目の総括をどのように捉えているのか。

答弁 選ばれて住み継がれるまちづくりのために、就任当初から準備をし、課題解決に向かってきていたものが、少しずつではありますが、形となつてあらわれ始めてきているのではないかと感じています。

質問 二期目の評価と今後の課題について

答弁 いろんな光明が見えてきていますが、人口減少に歯止めを打つてその大きなトレンドを変える、そのことが真の課題だと感じています。この課題に対する定住促進の助成事業、シェアハウスの整備、結婚促進事業の取組みにより、徐々に成果が上がってきていると感じています。さらに、子育て世代への支援として就任以来、保育料の大幅な軽減、子ども医療費助成の拡大、特定不妊治療費の全額助成、妊産婦への医療費助成などの支援策を重ねてきた中で合計特殊出生率が県内トップクラスを今も維持できていることは大変ありがたい光明の一つと感じています。さらに、大地の芸術祭、また地域おこし協力隊の活用などによって地域の魅力を磨くとともに、外部人材を登用し

て発信力を高めたことで新たな若者の移住、定住に結びついてきたという好循環ができつつあることは私の二期目の成果の一つと言っているのではないかと感じています。

質問 市役所改革と職員教育について

答弁 500人体制への取組みの中、事務支援員という形で、新卒大学生枠を設けて採用してきました。今後は、退職者の数を予測しながら人員の採用計画を進め、新入社員の若い諸君が社会人として成長し、すばらしい公務員に成長していくようなシステムをつくる必要があると感じています。

質問 三期目に臨む決意について

答弁 年末年始にしっかりと考えたいと思っています。



手づくり雑貨屋さん（分じろう）

子育て支援・子育て環境について 児童遊園施設の建設について

大嶋 由紀子 議員

質問 土日祭日の病児・病後児保育のお考えは。

答弁 当市でも土曜日に開院している医療機関がありますので、土曜日の実施に向けて前向きに検討したいと考えています。

質問 私立保育園についても公立同様に、障がいのある子どもに対して1人の職員を雇うことのできる額へ加配額を増やしていただきたいが考えは。

答弁 私立保育園のご要望をお聞きする中で、優先順位など私立保育園の皆様からのご判断いただく中で前向きに検討します。

質問 お年寄りから子どもまで楽しめる健康増進の健康遊具を設置するお考えは。

答弁 特に野外はいろんな可能性があり、多くの方にご利用いただけるようなものにしていく必要があると考えています。

質問 要望の多い、ふわふわドーム、水遊び場の設置は。

答弁 ご要望を勉強させていただき、現場で子育てを頑張っている方たちやお母さん方からのご意見をしっかりと伺ってつくりたいと思います。

質問 実際に使う子どもたちに聞いて

みるお考えは。

答弁 非常に新しいお考えですので、これから検討させていただきたいと思っています。

質問 以前に聞いたアンケートを生かす、子育て世代の声を聞く機会を要望しましたが、お考えは。

答弁 つくる以上は本当に市民の皆様に愛される、そして市民のみならず利用者の方々に喜んでいただけるものになければなりません。そのために多くの皆様からお力をお貸しいただく中で進めていきますので、私からも市民の皆様にもよろしくお願い申し上げます。



子ども達に大人気のふわふわドーム

中山間地の地域づくりについて

村山 邦一 議員

質問 十日町市は、地形、地質、気象などの条件から自然災害が発生しやすいところであり、豪雪・洪水・土砂災害・地震など多く発生した。その経験で市民には、公助・共助・自助は認識されていると思う。しかしながら中山間地域で安心して暮らす地域づくりとともに、生活の生業も含め緊急の課題について伺う。

① 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付制度の検証と活用。**②** 集落支援員の導入で人的支援の充実を。**③** 克雪体制の充実のため、1戸でも認定外道路除雪を認めること。

答弁 **①** 中山間地域等直接支払制度は2千543haで109の協定で取り組まれており、当初より面積は減少していますが、組織数は増えており、多面的機能支払制度の取組みについては増加傾向にあります。市費としても約24億2千万円を投資しており、耕作放棄地の防止、また地域の活性化に大いに寄与していると考えていますが、高齢化や後継者不足、担い手不足により山間部の耕作条件不利地において対象外とする農地が増え、取組みを諦める集落が多く見受けられることから、今後は、棚田保全のため景観を考慮した



共同作業に参加

ほ場整備を推進することで担い手や後継者が耕作しやすいほ場づくりを行い、耕作放棄地の未然防止にもつなげたいと考えています。
② 地域復興支援員は平成29年度をもって制度が終了しますが、支援員の長年蓄積された知見とノウハウは今後も十日町市にとって必要と考えられることから、平成30年度以降の集落支援員制度の導入を検討しています。
③ いろいろな要件が必要だと思いますが、1軒だから、必ずだめだというものもいかなものかと思えますので、しっかり要件を固める中で、可能かどうか検討したいと思います。

米山新県政への期待について 介護施設の虐待防止、介護施策の強化を

安 保 寿 隆 議員

質問 米山県政が誕生した。十日町市として、新県政への懸案課題は何か。

答弁 医師、看護師などの人材確保、県立看護職員養成施設の早期の事業化、上越魚沼地域振興快速道路のさらなる進捗、そして清津川の水問題の解消などに対してスピード感のあるご対応をしていただけるように着実に要望を続けるとともに、十日町市としても新潟県政に対して、しっかりと協力していく所存です。

質問 米山知事は、原発再稼働について、事故が健康に及ぼす影響の検証を挙げているが市長の見解はどうか。

答弁 示されているいろんなデータをしっかり検証して、国民の十分な理解を得なければ再稼働は無理という知事のお考えに近いものがあります。

質問 米山知事は、「県議会や市町村との連携、協力が不可欠。確かな信頼関係を築けるよう全力をつくす」と言っている。市長の見解はどうか。

答弁 お互いに尊敬できるような人間関係をともに県民、市民のために政策の議論を闘わせながら一つの方向に集約していく努力は非常に重要だと思っています。

質問 群馬県の介護施設での虐待の相

談があった。療養病床が200床も減り、225人の方が他県の施設に入所している。こうした状況を打開する方策をどのように考えているか。
答弁 来年春にはサービスつき高齢者住宅(49床)がオープンします。生まれ育った所で自然な状態で人生の終末期をしっかりと楽しんでいただけるような、そういう体制をつくるように努力していきたいと思っています。

●十日町市以外の介護施設への入所者数 (H28.11調査)

	平成26年	平成28年	増加数
県内施設	92人	112人	+30
県外施設	70人	113人	+43
内群馬県施設	54人	91人	+37

安保寿隆議員作成

子育て環境の充実について

鈴木和雄 議員

質問 国保制度では、多子世帯に均等割が重くのしかかる仕組みになっています。負担感解消を進めていただきたい。

答弁 引き続き市長会を通じて要望していくとともに、平成30年度から新たな国保制度が始まるわけでありまして、ども、そちらのほうの運営状況等を見ながら改めて検討してまいりたいと思っています。

質問 子ども医療費助成を実施している市町村に、厚労省は国庫負担金を減額する措置をとっています。その金額はどのくらいか。また、減額措置廃止で財源が生まれますので、一部負担金をやめ全額補助に踏み切っていたいただきたい。

答弁 平成27年度の療養給付費国庫負担金における地方独自事業に係る軽減調整の額ですが、重度心身障がい等々の県単の医療費助成も含まれますが、総額で約1500万円と試算をしています。この1500万円のうち子どもに係る部分の減額の金額は、約370万円を試算しています。全額補助について、県全体としてそういう水準まで持っていくことが私は大事だと思う。多分新しい知事は、その辺よく



招待給食会の様子

ご理解いただいた中で、きつとこの新年度予算の中でも、そういったことが出てくるんじゃないかなと期待をしております。そういうのを見ながら対応していかねければと思っています。

質問 就学援助の支給について、文科省では「必要な時期」と通達を出しています。新入学用品費の負担感解消に向け、2月あるいは3月に支給するよう改善していただきたい。

答弁 就学援助の対象者の認定は収入基準を確認してからの事務になりますので、6月、7月でないと所得の確認ができないので、その部分だけの早期の対応は難しい状況だと思っています。

日本遺産登録と

歴史文化基本構想策定について

吉村重敏 議員

質問 ①日本遺産認定の看板を早く出さないか。②妻有に因縁深い北越雪譜の「熊、人を助く」「異獣」の挿話を雪国観光資源に使わないか。③歴史文化基本構想は市の史上人物、伝説も対象にするか。④成果をふるさと教育に活用するか。

答弁 ①信濃川火焰街道連携協議会で補助金を申請しており、新しい多言語アプリや看板を含め、計画を進めている最中です。②今後具体的なものについては全体の中で調整を図りたいと思っていますが、その中でいろいろなかし方を考えたいと思います。③多様な声をまとめていくことが基本構想のベースになる部分だと理解していますので、取りまとめていきたいと思っています。④歴史文化基本構想のダイジェスト版による普及啓発に努めるとともに、現在作成中の「ふるさと教材」の活用についても、研究したいと考えています。

質問 国内有数の2つの処分場と小千谷市処分場は徹底した努力で最終処分量を激減させていた。霧谷処分場を見ると処分量削減努力の必要を感じた。地元自治会の視察や町内班長の収集会い等、市民に一層の協力を求めています。



ちぢみ問屋の荷を担ぐ飛渡池谷村の異獣（北越雪譜より）

どうか。

答弁 市民の皆さんからできるだけ資源化に協力いただき、そして大事な最終処分場をしつかりと残す。そういう努力をさらに発信し、市民の皆様と共有することで協働のまちづくりを進め、ごみの問題に対処したいと思っています。

義務教育学校設置と 米山知事との市の政策課題を問う

藤 巻 誠 議員

質問 義務教育学校設置に向けた諸課題は。①松之山小・中学校を一貫型にするメリットとデメリットは。②市内教員の免許取得状況は。③学校単位のカリキュラム設定の課題は。

答弁 ①メリットは従来の教職員組織が維持できることであり、デメリットは、校長が2人いることで、一つの学校として意思決定する際に、調整に時間がかかるということです。②学園長を置いて総合調整を図る役割を担うことでデメリットの解消が図られると考えています。③小学校教員の中学校教員免許取得率は70・1%であり、中学校教員の小学校教員免許取得率は26・5%となっています。④新たな教科の時数の設定、学校全体のカリキュラムのデザインが課題と考えます。

質問 米山知事の就任と当市の政策課題の見込み①八箇峠道路・十日町道路の早期国直轄での整備②十日町病院全面開院と県立看護職員養成施設の誘致③清津川・魚野川の水問題の早期解決

答弁 ①国から早期の事業化を図ってもらおうよう、県と一緒に頑張っていく所存です。②知事としっかりと連携する中で進めたいと思います。③清津川に全量が戻るように全力で引き続き取

り組みます。

質問 三期目に向けた市長の意欲

答弁 十日町市にとってどういうリーダーが理想的なのかを改めてじっくりと考えさせていたいただきたい。

質問 文化ホール・中央公民館の開館記念事業の計画と今後の取組み

答弁 開館を祝い、より多くの市民の方々から楽しみ、親しんでいただけるように、さまざまなジャンルで5回程度の開館記念イベントを開催する方向で検討を進めています。現在関係団体等と内容や日程等の調整を行っているところです。



建設中の(仮称)市民文化ホールの内部

市民文化ホールと周辺道路について

太 田 祐 子 議員

質問 十日町市のランドマーク・モニユメントとなる市民文化ホールの工事が順調に進んでいる。外観も見え、市民の関心も高まり完成が待ち遠しい状況となった。次の項目について伺います。①文化ホールの駐車場は何台確保できるのか。②周辺道路を含めた除雪体制について③文化ホールへの導入経路と渋滞緩和策について④内覧会・こけら落とし等のスケジュールについて⑤文化ホール周辺を十日町版ユニバーサルデザインモデル地区にすることを提案する。

答弁 ①おおむね220台で、冬場は機械除雪により常時100台程度のスペースを確保し、十日町雪まつりなどのイベント時には排雪をして駐車スペースの確保を行います。②周辺道路の除雪については、これまでと同様、市道除雪体制の中で責任を持って行っています。③文化ホールへの進入路は3経路あり、現在文化ホール建設にあわせて市道山本高山線からの進入路を新しく整備し、国道117号の本町1丁目上からの市道を来年のオープンまでに拡張する予定です。特に混雑が予想されるイベント開催時には、混雑緩和のため主催者側にも誘導員等を配置

するよう要請をしたいと考えています。休日であれば市役所駐車場も利用いただくことで混雑緩和につながると考えています。④内覧会は11月初旬ごろを予定しており、オープン後は平成30年6月ごろまでの間にさまざまなジャンルで5回程度の開館記念イベントを開催する方向で検討を進めています。⑤歩く方もスムーズに入れ、障がいのある皆さんにもご利用いただけるようなものに建物自体はなりませんが、動線などもしっかりと考え、時間がかかるかもしれませんが、近づけていければと思います。



建設中の(仮称)市民文化ホールの外観

どの様な教育が一番大切とお考えか 学校教育の現状と課題、方向性は

小林 均 議員

質問 教育現場で教師や学校が子ども達にどういった教育をする事が一番大切なのか、お考えを伺います。

答弁 ふるさとを愛し、自立して社会で生きる子どもを育てるという教育を目指しています。ふるさとを愛しとは、ここに生まれたことをしつかりと自覚していく中で、いろんな人生観、例えば働き方に対する考えや働く場所の選択、そのときにふるさとをベースに考えていただけたらいいかな、そういう人間に育っていただきたいという思いがあります。自立して社会で生きる子どもとは、こういう考え方もしくは基本観を持つと、人生が有意義なものになりますよというメッセージを、特に義務教育期間においては、学校、校長先生はじめ、先生方からいろんな経験を通じて教えていただければ本当にありがたいなと思っています。

質問 学校教育の現状、課題と方向性について①学力向上について②教師の多忙化について③教育と経済負担、貧困対策について④地域と学校のかかわりについて

答弁 ①全国学力・学習状況調査の結果、活用、応用にかかわる問題の正答



ふるさと信濃川教室

率が低く、授業を通して活用力をどう高めていくかを課題とし、中学校における現在の学力の状況を維持向上させていく考えです。②勤務時間外に学校に残り仕事をしている教職員が多い状況です。これまでの取組みを継続するとともに、地域の力をお借りしながら学校を応援する体制づくりを現在進めています。③就学援助を受けている児童生徒は、年々若干の上昇傾向にあります。国の基準に準じ、引き続き必要な援助を行う考えです。④学校運営について保護者や地域の方のご意見をより重視するコミュニケーション制度の導入を考えています。

「集落支援員」の積極的配置と 生活支援総合事業の連携を望む

小野嶋哲雄 議員

質問 当市の周辺地域の少子高齢化は止まることなく進展し、生活扶助機能の低下、空家の増加、耕作放棄地の増加等、課題は山積みです。これらの高齢化集落の支援のため「集落支援員」の配置が急務ですが、配置計画についてお考えを伺います。

答弁 平成30年度からの集落支援員の配置に向け、準備を進めています。地域の実情に詳しく、集落対策の推進に知見とノウハウを持っているその土地の住民の方が就任することにより効率的、効果的に地域の課題の解決策やニーズの抽出が可能となると思います。導入を機とし、地域、地域おこし協力隊、そして集落支援員が一体となって地域づくりを進めることの動きをさらに加速して、集落の存続と機能維持という重要な課題に対し、対応したいと考えています。

質問 平成26年の介護保険法の改正により、来年から新たな「介護予防・生活支援総合事業」が始まります。高齢化集落の安心できる暮らしと不安の解消には集落支援員の配備と総合事業との連携が必要ですがお考えを伺います。

答弁 総合事業と集落支援員との連携では、例えば高齢化や後継者不足で存

続が厳しいサロンに対しては、運営補助や新規参加者の掘り起しを、また新しいサロンの立ち上げ等の支援も考えられます。しかし、地域によって課題や地域活性化の取組みが異なりますので、配置に当たっては、総合事業との連携にこだわらずに地域自らが課題解決に取り組み意欲のもとに配置し、共に考えて行動した上で、地域や集落の持続可能な体制を作ることが重要であると考えています。

集落支援員の業務内容等

業 務	○集落の目配り・状況把握
	○集落の点検（支援例）
	・通院・買物・共同作業の状況
	・農地の状況
	○集落が実施する取組支援
	・高齢者の見守り
	・特産品開発
	・地域文化の継承
	・地域外との交流・UIターンの推進
・他集落との連携・交流	
国の財源手当（専任）	350万円/一人（上限）
〃（兼務）	40万円/一人（上限）

小野嶋哲雄議員作成

12月定例会議決結果

議案番号等	件名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長提出議案	115 人権擁護委員候補者の推薦（石黒良泉氏） いしぐろりょうせん	—	全員賛成	原案可決
	116 損害賠償の額を定めること	—		
	117 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教 可決	賛成多数	原案可決
	118 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定			
	119 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定		全員賛成	
	120 十日町市行政組織条例の一部を改正する条例制定			
	121 十日町市立学校給食センター条例の一部を改正する条例制定		賛成多数	
	122 十日町市新規就農者等技術習得管理施設条例制定	産業建設 可決	全員賛成	原案可決
	123 指定管理者の指定（東川美術館）			
	124 指定管理者の指定（三省ハウス）			
	125 市道の認定（当間珠川線）			
	126 十日町市土木事業分担金に関する条例制定			
	127 地籍調査事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定			
	128 十日町市農業委員会の委員等の定数に関する条例制定			
	129 平成28年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	全員賛成	原案可決
	130 平成28年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	—		
	131 平成28年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—		
	132 平成28年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—		
	133 平成28年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	—		
	134 平成28年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	—		
	135 平成28年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	—		
	136 平成28年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	—		
	137 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	—		
議会提出議案	10 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。
 (○：賛成、×：反対、－：欠席) ※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風				ふき 不羈の会				さんし 三矢会				いしずえ 礎				日本共産党 十日町市議団				市民クラブ りん 凜				
				近藤紀夫	羽鳥輝子	遠田延雄	吉村重敏	藤巻誠	高橋俊一	飯塚茂夫	仲嶋英雄	庭野政義	涌井充	小嶋武夫	高橋洋一	鈴木一郎	村山達也	小林弘樹	宮沢幸子	福崎哲也	大嶋由紀子	村山邦一	安保寿隆	鈴木和雄	太田祐子	小林均	小野嶋哲雄	川田一幸
117	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	※	
118	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	※	
121	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※	

厚生環境常任 委員会視察報告

管内行政視察

平成28年5月10日に私立慈光認定こども園、障がい者支援センターわつかふえ、エコリバース第1工場、環境衛生課を視察し、それぞれの施設の運営状況等について説明をいただき、その後、委員会において伺った課題等を協議し、取りまとめた意見を担当部長に提出しました。

管外行政視察

・平成28年11月8日…大阪市生田区 NPO法人出発（たびだち）のなかまの会

旧産婦人科医院だった空き家
を活動拠点として、障がいを持
っている子どもたちと保護者が
一緒になって楽しめる居場所づく
りの活動を展開していました。
・平成28年11月9日…三重県伊
賀市 三重中央開発㈱

エネルギープラザという国内
最大規模の複合型リサイクル施
設を視察しました。1日に63
6トンの処理能力の焼却炉、焙



最終処分場と設備群

焼施設、乾燥施設、炭化施設を
備え、排熱を利用した4kw/h
の発電システムで施設の電力
を賄っています。また、社有敷
地内に329万㎡の最終処分場
が平成27年4月に完成し、現在
の設備群はかつての最終処分場
の上に建設されていました。
エネルギープラザから10数キ
ロ離れたホテルの温泉に熱エネ
ルギーを供給するトランスヒー
トコンテナシステムは、焼却炉
の余熱を導管を使わずにコンテ
ナで運搬して使用するドイツ生
まれの技術です。コンテナ1個
で14tの水を25度上昇させるこ
とができます。
今回の視察では廃棄物焼却炉、
最終処分場の理想的なあるべき
姿を深く考えさせられた視察と
なりました。

十日町・松代病院 特別委員会報告

去る10月27日、特別委員会を
開催し、県立十日町病院吉嶺院
長をお招きし、「魚沼医療再編
は地域医療をどう変えたか」と
題し講話をいただきました。魚
沼医療再編によって当地域も含
めた魚沼圏域の地域医療がどう
変わってきたのか、そして、今
後どうあるべきかについて、魚
沼基幹病院開院から現在までの
状況、阿賀町の高齢者への訪問
診療や訪問看護での地域医療の
取り組み等の具体例を交えてお
話いただきました。治療医学か
らQOL（生活の質）が重要視
される時代となった現在、地域
包括ケアシステムの実現のため
には、特に訪問看護の充実が鍵
であること、より多くの「かか
りつけ」を持ち、なじみの関係
を繋げていくことが重要である
こと、そのためのツールとして
自己の疾病、健康情報の一元化
が可能な母子手帳の成人版であ
る「健康ファイル」を活用しな
がら、他職種連携協働によるチ
ーム医療に取り組んでいく必要
があることなど、現在の地域医
療の現状や、これからの地域医



十日町・松代病院特別委員会（10/27）

療のあるべき姿についてお話を
いただき、その後質疑を交わし
ました。
質疑の中で、吉嶺院長から、
現在は「自分らしい暮らしの持
続」が求められてきており、そ
のためには日ごろからの健康管
理や、良い医療を受けるための
自分自身の医療・健康情報の管
理が大切であり、十日町病院と
しては総合診療専門医制度を活
用して取り組みたいと考えてい
ること、また、医師確保のため
に行政からは衣食住、雪対策の
ほか、県外で医学生や研修医と
面談する機会に、自治体のトッ
プから市のPRや、想いを伝え
ることが、有効であるとお話
がありました。

議員活動について感じること

（十日町 60代男性）

初めて傍聴させていただきました。
議場は明るい淡い色の内装で落ち着い
た感じでした。驚いたことは議員席と
傍聴席の段差があまりなく議員さんと
一般市民との隔たりみたいなのを感じ
ず、親近感を持てました。国会中継
等はテレビで見ることがありますが、
直接身近な問題でない感じがかつ、場
げ足の取り合いの様相です。市議会は
質問、答弁の内容は身近な事柄で関心
を持って聞くことができました。市政
について建設的に話し合いが進められ
て行き、心地よく聞き入ることができ
ました。市議の皆さまも専門分野をよ
く調査勉強されて、私達が気づかない
ような疑問、提案をされて、さすが市
民の代表としてご尽力いただいている
と実感しました。

皆さんも市議会を 傍聴してみませんか！

次の3月定例会は、3月初旬
に予定しています。詳しくは議
会事務局へご照会ください。

☎025-757-3119（直通）

会派通信

かいほうしん

市民クラブ 凛

10月24日教育委員会と①学力向上策②放課後児童クラブの実態③就学援助制度④教職員の多忙化の実態と対応策について意見交換を実施しました。未来を担う子どもたちの教育環境の充実は重要であり、課題解決に向けて努力することを確認しました。

11月16月、18日東北3県震災復興まちづくりについて、福島県双葉郡広野町、楡葉町、富岡町、宮城県女川町、岩手県大船渡市へ行って来ました。民間主導・公民連携のまちづくりを進める女川町、エリアマネジメント方式で復興拠点整備事業を展開している大船渡市は力強い復興の槌音が響いていました。しかし、福島第一、第二原発周辺の3町は、未だ時間が止まっています。現在、富岡町に人は住んでおりません。震災前約1万5千人の方が住んでいた

町なかに立つと震災直後のままの状態です。民家の庭や空き地は誰も手入れをする人がいないため、庭木や雑草が伸び放題です。あの時のまま家の中も外も、手が付けられることなく時間が止ったままの町なか。

誰もいない校庭にポツンと立っている線量計は0・68μシーベルトを示しています。子どもたちの帰れる見通しはありません。多くの人達が利用していた日赤病院も崩れかけたままです。地震・津波被害は復興へと歩みを進められますが原発災害は、土壌、産業、人々の営み全てを破壊してしまっています。今回の視察で学んだ事を今後の市政運営に反映していきたいと思えます。



帰還困難区域看板前 (富岡町)

表紙写真について

今号の表紙は松代高校写真部の作品です。

松代高校写真部



今年は男子が中心で、人物よりも風景や静物写真が好きな人たちが集まりました。「感動を伝えられる写真」を目指して撮影活動をしています。

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで本会議の様子を配信しています!

定例会の生中継や過去の本会議をパソコンで視聴できます。

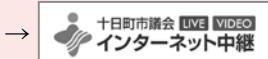


視聴方法

十日町市ホームページ →



(左側中段にあります)



<http://www.tokamachi-city.stream.jfit.co.jp/>

* 会議録の検索は **会議録の検索と閲覧**

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999

あとがき

議員の任期も余すところ数ヶ月、志あつての4年間の活動を有権者は如何なる評価をしているのだろうか。負託を受けた議員として未来へ思いを巡らせてみる。合併して10年、国の優遇策も先が見える中、さらなる少子高齢化の進展と不況の波の継続は市民の不安解消には至っていない。

結果として不安の継続はさらなる欲求と依存の拡大を招き自立と共生が遠のく。この現実の中で当市の5年、10年先の羅針盤として第二次総合計画が今年度からスタートした。社会環境と市民ニーズの変化を的確に捉え、継続の中で進化をしなければならぬ。その先導役として普及活動に次世代の議員活動を期待したい。

小野嶋 哲雄